

5月30日 (火)	A会場 メインホール (813名)	B会場 3F展示室3-5 (168名)	C会場 3F展示室6-8 (168名)	D会場 4F会議室2-4 (268名)
9:15-10:45	特別企画 1: 質量分析と環境科学: 革新を生む突破口はどこか?	TU-B1 一般研究セッション1: 環境レベル1 座長: 先山孝則・中田晴彦	TU-C1 一般研究セッション2: 重金属・元素 1 座長: 日置恭史郎・阿草哲郎	TU-D1 重点テーマセッション1: 農業の環境動態・生物影響・リスク評価 座長: 高橋宏和・坂本正樹
9:15 開会および趣旨説明 鈴木規之 (日本環境化学会) 9:20 質量分析学会の紹介, 質量分析装置の開発と環境計測への応用 豊田岐聡 (大阪大学・日本質量分析学会会長) 9:45 「環境化学」誌に見る環境分析の変遷とこれから 橋本俊次 (国立環境研究所) 10:05 〆レシ極微量同位体トレーサーを用いた地下水流動系の解析 鳥野浩史 (東京大学) 10:30 環境化学分野におけるnon-traditional stable isotopeの応用事例 坂井啓明 (東京大学) 10:45 休憩口	<p>滝口 敢 講演番号 東京農工大学大学院 Aa0003 TU-B1-1 東京湾東部沿岸に棲息するアマモ類における船底防汚物質の蓄積特性</p> <p>大友 竣介 講演番号 摂南大学 Aa0067 TU-B1-2 ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤による琵琶湖・淀川流域および吉野川水系の汚染実態調査について</p> <p>北 将大 講演番号 岐阜県保健環境研究所 A00077 TU-B1-3 岐阜県におけるPM2.5粒子中の多環芳香族炭化水素キノン類のモニタリング調査</p> <p>早川 和一 講演番号 金沢大学 A00085 TU-B1-4 金沢の大気中粒子状物質と多環芳香族炭化水素類への越境輸送のインパクト</p> <p>星野 邦広 講演番号 株式会社ENVサイエンスレーディング A00198 TU-B1-5 車室内化学物質のスクリーニングに関する研究: パッシブサンプリャによる研究 (その5) - POD SamplerのStyreneサンプリングレートの測定-</p> <p>木口 倫 講演番号 秋田県立大学 A00092 TU-B1-6 秋田県八朗湖流入河川水中の浸透移行性殺虫剤と代謝物の濃度と四季変化</p>	<p>丸山 瑞貴 講演番号 北海道大学大学院獣医学研究院 A00158 TU-C1-1 日本の野生猛禽類及びガン・カモ類における鉛汚染の実態と鉛同位体比を用いた曝露源の解明</p> <p>高橋 嘉夫 講演番号 東京大学 A00239 TU-C1-2 化学種と同位体比に基づくエアロゾル中の亜鉛の起源解析と経年変化</p> <p>篠原 咲希 講演番号 東京農工大学大学院 Aa0016 TU-C1-3 東京都国道20号線沿いの道路脇粉塵および藪苔類における放射性セシウムの蓄積と分布</p> <p>林 佳奈 講演番号 東京農工大学大学院 Aa0006 TU-C1-4 東京都江戸川区小松川地区の雨水ます内滞留水におけるCr(VI)レベルの長期変化と還元性元素の影響</p> <p>田中 祥太 講演番号 東京大学 Aa0047 TU-C1-5 皇居お堀堆積物とグリーンランドアイスコアに記録された人為起源エアロゾルの化学分析</p> <p>大矢 悠幾 講演番号 東京農工大学大学院 A00067 TU-C1-6 東京湾への流入3河川河口域における微量元素分布-二枚貝類を指標生物に用いたモニタリング-</p>	<p>石母田 誠 講演番号 残留農薬研究所 A00011 TU-D1-1 オオミジンコのカーバメート剤に対する薬剤耐性メカニズム-遺伝子発現量およびDNAメチル化率の変化-</p> <p>永井 孝志 講演番号 農研機構 A00013 TU-D1-2 環境DNAを用いた野外水生昆虫・珪藻群集の分析と生態影響評価への応用</p> <p>羽野 健志 講演番号 水産研究・教育機構 A00207 TU-D1-3 殺虫剤・ウイルス感染・水温の複合影響がクルマエビの生存に及ぼす影響</p> <p>水川 葉月 講演番号 愛媛大学大学院農学研究科 A00095 TU-D1-4 水中農薬の一斉分析法開発と田面水及び周辺水系における農薬の動態解析</p> <p>河合 兆治 講演番号 株式会社三菱ケミカルサーチ A00232 TU-D1-5 クロルピリホスのメダカに対するアセチルコリンエステラーゼ活性阻害と繁殖に与える影響</p> <p>岩崎 多聞 講演番号 東京工業高等専門学校物質工学科 Ac0002 TU-D1-6 ネオニコチノイド系農薬であるチアメトキサムを有効成分とする殺虫剤が甲殻類Daphnia magnaに与える複合毒性の調査</p>	
11:05-12:35	特別企画 1: 質量分析と環境科学: 革新を生む突破口はどこか?	TU-B2 一般研究セッション3: 環境レベル2 座長: 三宅祐一・堀井勇一	TU-C2 一般研究セッション4: 重金属・元素 2 座長: 渡邊 貴・泉佐佐和子	TU-D2 重点テーマセッション2: 動物行動研究の先端から発達神経毒性試験の未来を考える 座長: ベナー 聖子・宮崎 航
11:05 〆コデオフォーム大規模解析とプロテオームデータベース 石瀧 泰 (京都大学) 11:30 高分解能質量分析計を用いた生体試料中環境化学物質の探索と曝露影響解析 江口哲史 (千葉大学) 11:45 虫態影響から環境化学物質をみる〜日本版影響指向型解析手法の検討〜 齋部春奈 (国立環境研究所) 12:00 質量分析計で環境中に広がるUnknownsのリスクを推し量る新たな方法 頭土泰之 (産業技術総合研究所) 12:15 総合討論口 12:35 終了	<p>坂本 和暢 講演番号 兵庫県環境研究センター A00261 TU-B2-1 GC-HRMSを用いた大気中におけるベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤(BUVs)の季節毎の濃度実態について</p> <p>滝川 哲也 講演番号 静岡県立大学 A00227 TU-B2-2 冬季の富山県における一般住宅の粒子状多環芳香族炭化水素類およびそのハロゲン化誘導体の粒径分布特性</p> <p>佐藤 匠悟 講演番号 熊本大学 Aa0038 TU-B2-3 地下水下中水マーカ (人工甘味料) とマイクロプラスチックの濃度分布に関する傾向解析</p> <p>新里 優太 講演番号 愛媛大学大学院農学研究科 Aa0051 TU-B2-4 肝臓中水酸化PCBs (OH-PCBs) の分析法確立と野生鳥類におけるPCBs代謝能力の種間差解析</p> <p>須之内 朋哉 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター Aa0004 TU-B2-5 沿岸性鯨類2種およびシワハイルカにおけるPOPs・POPs類緑化化合物の蓄積プロファイルと種間比較</p> <p>永井 大貴 講演番号 横浜国立大学 Aa0061 TU-B2-6 カーシート製品中における臭素系難燃剤の含有実態の調査</p>	<p>大矢 悠幾 講演番号 東京農工大学大学院 Aa0001 TU-C2-1 沖縄県座間味島における漂着ゴミ由来微量元素による沿岸域陸生生物への汚染</p> <p>山口 大樹 講演番号 東京農工大学大学院 Aa0014 TU-C2-2 東京都世田谷区井天地で採取したミシシippアカミガメの微量元素蓄積</p> <p>藤森 英治 講演番号 環境調査研修所 A00061 TU-C2-3 国内下水処理施設における流入水及び放流水の超高感度多元素分析</p> <p>尾崎 宏和 講演番号 東京農工大学 A00270 TU-C2-4 東京都江戸川区で続く6価クロム汚染に対する降雨影響の検討</p> <p>米持 真一 講演番号 埼玉県環境科学国際センター A00205 TU-C2-5 移動発生源から排出される磁性粒子の実態解明</p> <p>鈴木 美成 講演番号 国立医薬品食品衛生研究所 A00022 TU-C2-6 海産食品に含まれるナノサイズの水銀含有粒子の存在およびその食事性曝露量の推定</p>	<p>ベナー 聖子 講演番号 国立環境研究所 A00143 TU-D2-1 現行ガイドラインにみる動物行動毒性評価の現状と問題点</p> <p>遠藤 俊裕 講演番号 フェリハンス合同会社 A00293 TU-D2-2 動物行動評価の自動化/大規模データ化に基づく発達神経毒性研究の変革</p> <p>前川 文彦 講演番号 国立環境研究所 A00161 TU-D2-3 "新規行動実験手法の毒性学における活用: IntelliCageを用いた影響評価</p> <p>LIPP Hans-Peter 講演番号 Institute of Evolutionary Medicine, University of Zurich E00021 TU-D2-4 Perils of translational research in behavioral neuroscience</p> <p>小島 肇 講演番号 国立医薬品食品衛生研究所 A00165 TU-D2-5 発達神経毒性性に関わるOECD試験法ガイドライン改定の道筋と課題</p>	

5月31日(水)	A会場 メインホール(813名)	B会場 3F展示室3-5(168名)	C会場 3F展示室6-8(168名)	D会場 4F会議室2-4(268名)
9:00-10:30	WE-A1 一般研究セッション5:分析技術1 座長:後藤哲智・宮脇 崇	WE-B1 一般研究セッション6:プラスチック1 座長:亀田 豊・水川薫子	WE-C1 一般研究セッション7:重金属・元素3 座長:隠塚俊満・久保田領志	WE-D1 重点テーマセッション3:環境化学物質の学際的共同研究の成果と展望 座長:岩田久人・国未達也・野見山 桂
	清 健人 講演番号 アジレント・テクノロジー株式会社 A00231 WE-A1-1 水素キャリアガスを用いたGC/MS分析における2カラム同時接続法の水質検査への適用	水川 薫子 講演番号 東京農工大学 A00179 WE-B1-1 離島に生息するヤドカリにおける凍着ごみ由来プラスチック汚染	阿草 哲郎 講演番号 熊本県立大学 A00272 WE-C1-1 マウスを用いた牛糞焼成由来のヒ素曝露の毒性影響評価	平井 杏梨 講演番号 北海道大学大学院獣医学研究院 Aa0010 WE-D1-1 ネオニコチノイド投与による脳内モノアミンの変動と行動
	達 晃一 講演番号 ISUZU MOTORS, LTD A00059 WE-A1-2 ガスクロマトグラフィー質量分析法の代替キャリアガス検討	田中 厚資 講演番号 国立環境研究所 A00219 WE-B1-2 海岸マイクロプラスチックにおける光安定剤等添加剤の含有状況	櫻木 青 講演番号 弘前大学大学院保健学研究科 Ab0012 WE-C1-2 カドミウム曝露細胞より分泌された細胞外小胞の骨系細胞における毒性発現経路の検討	久保田 彰 講演番号 帯広畜産大学 A00292 WE-D1-2 分析化学的手法の活用によるゼブラフィッシュ胚を用いた発生毒性評価と毒性発現機構の解析
	中村 李 講演番号 アジレント・テクノロジー株式会社 A00230 WE-A1-3 水素キャリアガスを用いたGC/MSによる揮発性有機化合物のスクリーニング法の検討	伊藤 真奈 講演番号 水産研究・教育機構 A00068 WE-B1-3 マイクロプラスチックの形状による多環芳香族炭化水素の吸着特性と魚類消化管内における推定溶出量の差異	宮崎 航 講演番号 弘前大学大学院保健学研究科 A00256 WE-C1-3 骨分化抑制を引き起こすカドミウム曝露細胞由来細胞外小胞の産生・分泌機構の解明	家田 曜世 講演番号 国立環境研究所 A00093 WE-D1-3 日本海堆積物コア試料中有機ハロゲン化合物の網羅的スクリーニング
	加藤 みか 講演番号 東京都環境科学研究所 A00053 WE-A1-4 都市内河川における半揮発性有機化合物のAIQS-GC-MSによる調査・評価	山本 幸平 講演番号 岐阜大学 Aa0069 WE-B1-4 し尿処理場調査に基づく浄化槽汚泥由来の繊維状マイクロプラスチックの物質収支の検討	資來 佐和子 講演番号 国立水俣病総合研究センター A00038 WE-C1-4 水銀高蓄積野生動物種における水銀およびその他微量元素の母子間移行-フィリマンダスに例に-	熊川 貴仁 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター Ab0005 WE-D1-4 Chemoinformaticsとin silico解析を組み合わせたin vitro イヌエストロゲン受容体転写活性化能予測のQSARモデル
	山本 敦史 講演番号 公立鳥取環境大学 A00237 WE-A1-5 GC × GC で可視化される化学反応槽としての電子たばこ	山原 慎之助 講演番号 熊本大学 Aa0044 WE-B1-5 オープンバンピングサイト周辺土壌におけるマイクロプラスチックとその添加剤の汚染実態把握 -タイ王国を例に-	苅部 基一 講演番号 近畿大学 A00102 WE-C1-5 福島県沿岸海域における二枚貝の貝殻中の放射性ストロンチウム濃度	飯田 緑 講演番号 九州工業大学 A00169 WE-D1-5 ネットワーク生物学を用いた化学物質の影響評価
	松神 秀徳 講演番号 国立環境研究所 A00160 WE-A1-6 LCで利用可能な保持指標の検討 ~UoA RTI Platformの保持指標変換法の適用~	埜 慎悟 講演番号 千葉工業大学 Aa0034 WE-B1-6 ニューストネットとブランクネットを用いた東京湾表層の350µm以上マイクロプラスチック存在特性比較	渡邊 泉 講演番号 東京農工大学 A00035 WE-C1-6 小笠原諸島で採取されたオカヤドカリにおける海洋プラスチックごみ由来の微量元素汚染の可能性	落合 真理 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター A00167 WE-D1-6 鯨類における化学物質の毒性・リスク評価のためのin vitro試験法の開発
	10:50-12:35	特別企画2:メタボロミクス、特にリビドミクスと疾患	WE-B2 一般研究セッション8:プラスチック2 座長:羽野健志・村田里美	WE-C2 一般研究セッション9:毒性影響1 座長:征矢野 清・堀江好文
リビドミクスを応用したアレルギー性疾患の病態解明と診断・治療への応用 村田幸久(東京大学)		亀田 豊 講演番号 千葉工業大学 A00054 WE-B2-1 人工衛星データと機械学習を用いた海洋上のプラスチック汚染検出ソフトの開発	内村 未来 講演番号 鹿児島大学大学院農林水産学研究科 Ac0004 WE-C2-1 海産メダカ胚に対する酸素多環芳香族炭化水素類の影響とメダカ胚との感受性の相違に関する研究	田上 瑠美 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター A00255 WE-D2-1 医薬品類およびパーソナルケア製品由来物質の生物移行・残留性と中枢神経系への影響の評価
大規模血液メタボロミクスによる健康評価・疾患解析への取り組み 北 芳博(東京大学)		山崎 雅俊 講演番号 鹿児島大学 A00202 WE-B2-2 海産ヨコエビに対するタイヤ粉塵及びその溶出物の影響評価と走行距離に応じた毒性変化	千種 佳織 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター Ac0007 WE-C2-2 有機リン系難燃剤リン酸トリス(2-クロロ-1-メチルエチル)(TCIPP)曝露によるニワトリ初期胚の発生毒性評価	小林 憲弘 講演番号 国立医薬品食品衛生研究所 A00228 WE-D2-2 水環境におけるヒト用医薬品111種の存在実態の調査
オミクス技術を用いたコホート調査・動物試料における化学物質曝露影響の探索 江口哲史(千葉大学)		高橋 祐介 講演番号 熊本大学 Aa0009 WE-B2-3 日本近海の高底プラスチックごみの材質および含有添加剤の成分解析	神田 宗欣 講演番号 愛媛大学 A00094 WE-C2-3 ニワトリ初期胚におけるリン酸トリス(2-クロロエチル)(TCPE)の上皮間葉転換(EMT)および中胚葉分化に対する影響	西野 貴裕 講演番号 東京都環境科学研究所 A00024 WE-D2-3 東京都内水環境におけるスルファミドキサゾール等の生態リスク評価と排出源把握
		鈴木 剛 講演番号 国立環境研究所 A00183 WE-B2-4 廃プラスチックのマテリアルサイクルにおけるマイクロプラスチックの生成と挙動(2)	武田 一貴 講演番号 北里大学獣医学部 Aa0039 WE-C2-4 AlphaFold2と分子シミュレーションを活用した天然記念物オガサワラオコウモリの殺菌剤感受性評価	井原 賢 講演番号 高知大学 A00121 WE-D2-4 薬理活性に基づく生態毒性研究における抗うつ薬の優先順位づけ
		日置 恭史郎 講演番号 国立環境研究所 A00196 WE-B2-5 酸化防止剤p-フェニレンジアミン(PPD)類のキノン体によるサケ科魚類毒性	北條 裕也 講演番号 鹿児島大学大学院農林水産学研究科 Ac0006 WE-C2-5 アスコルビン酸の抗酸化作用を低下させたヒメダカ胚中で誘発される酸化ストレス由来の影響に関する研究	隠塚 俊満 講演番号 水産研究・教育機構 A00060 WE-D2-5 瀬戸内海における抗生物質および除草剤のモニタリングと生態リスク評価
		中田 晴彦 講演番号 熊本大学 A00181 WE-B2-6 水生藻類におけるマイクロプラスチックの特異な蓄積 ~阿寒湖産マリモを例に~	福上 周作 講演番号 鹿児島大学連合農学研究科 Ac0005 WE-C2-6 ビレンとフルオランテンの魚胚内動態と影響発現メカニズムの相違に関する研究	竹内 一郎 講演番号 愛媛大学 A00136 WE-D2-6 日焼け止め成分オキシベンゾンのミドリシ属サンゴ/褐虫藻に対する毒性影響
		鎌迫 典久 講演番号 愛媛大学 A00295 WE-B2-7 水溶性フィルムに生影響	松尾 純平 講演番号 鹿児島大学大学院連合農学研究科 Ac0003 WE-C2-7 メタボロミクスを用いたヒメダカ胚に対する重油水溶性画分の影響評価	高井 優生 講演番号 九州大学 A00096 WE-D2-7 Peek-A-Boo test:メダカを用いた抗不安薬・抗うつ薬の影響評価法の検討

15:30-17:00	WE-A3 一般研究セッション 1 0 : PFAS 座長：松神秀徳・櫻井健郎	WE-B3 一般研究セッション 1 1 : English Session 1 座長：中野 武・池田良徳	WE-C3 一般研究セッション 1 2 : 毒性影響2 座長：久保田 彰・平野将司	WE-D3 重点テーマセッション 5 : マイクロプラスチックと関連化学物質の動態・生物影響 座長：仲山慶・鈴木 剛
	栗原 勇 講演番号 東京大学大学院 A00188 WE-A3-1 廃棄物資源化施設における大気中有機フッ素化合物 (PFAS) の実態調査	CHAO KUANG-YING 講演番号 国立成功大学環境工学科 E00006 WE-B3-1 Using non-target and target analyses to investigate endocrine disrupting substances in air particle and dust samples from Taiwanese temples	関戸 梨乃 講演番号 東京農工大学大学院 Aa0002 WE-C3-1 アルテミアArtemia salinaにおけるバルブ繊維およびセルロールナノファイバーの急性毒性	仲山 慶 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター A00149 WE-D3-1 水生生物に対するタイヤ粒子の有害性評価
	松神 秀徳 講演番号 国立環境研究所 A00265 WE-A3-2 泡消火薬剤に含まれるフッ素系界面活性剤に関する実態調査	FALAHUDI N DEDE 講演番号 Graduate School of Agricultural Sciences, Ehimu University Aa0012 WE-B3-2 Accumulation profiles of halogenated organic compounds in the living Indonesian coelacanth (Latimeria menadoensis)	湊 律子 講演番号 石川県立大学大学院 Ac0001 WE-C3-2 多環芳香族炭化水素類 (PAHs) の即時型アレルギー増悪リスク分析	村田 里美 講演番号 土木研究所 A00108 WE-D3-2 ヒメダカ稚魚の洗濯由来繊維状マイクロプラスチックの取り込みと排出
	齋藤 肇輝 講演番号 横浜国立大学 Aa0024 WE-A3-3 総フッ素分析法を用いた泡消火薬剤中の包括的PFAS定量分析	Lin Ji-Feng 講演番号 台湾国立成功大学環境工学科 E00008 WE-B3-3 Occurrence and behavior of pharmaceuticals in wastewater treatment plants and their endocrine disrupting activities	平山 耕太郎 講演番号 東京大学 Aa0075 WE-C3-3 16S rRNAメタゲノム解析を用いた東日本9湖沼におけるバクテリア群集の時間的多様性評価	亀田 豊 講演番号 千葉工業大学 A00041 WE-D3-3 水道水中の1 μm以上のマイクロプラスチックのフマにメーキング分析手法の開発と測定事例
	長谷川 淳 講演番号 ぶくおか公衆衛生推進機構 A00291 WE-A3-4 水道水における超短鎖型及びその他の有機フッ素化合物 (PFAS) の分析	GUIDA Yago 講演番号 National Institute for Environmental Studies Aa0058 WE-B3-4 Resolving the homolog composition of technical chlorinated paraffins used worldwide	日置 義史郎 講演番号 国立環境研究所 A00195 WE-C3-4 魚類試験における環境RNAを用いた影響評価：ミナミメダカを用いた事例	上田 紘司 講演番号 産業技術総合研究所 A00037 WE-D3-4 東京湾の海表面における微細マイクロプラスチック濃度の推測と単位変換
	小澤 真人 講演番号 横浜国立大学 Aa0065 WE-A3-5 撥水加工繊維に含まれる有機フッ素化合物PFASの含有実態調査	Liu Yen Hsiang 講演番号 Department of Environmental Engineering, National Cheng Kung University E00005 WE-B3-5 Determination of microplastics and plastic additives in soils of parks built on ex-landfills using a QuEChERS method in combination with GC-MS analysis	河田 あおい 講演番号 北海道大学大学院獣医学研究院 A00166 WE-C3-5 低濃度DDTが実験ラットの血漿ステロイドホルモンに及ぼす多世代影響の評価	岩崎 雄一 講演番号 産業技術総合研究所 A00047 WE-D3-5 マイクロプラスチックの特徴を考慮できる種の感受性分布の推定：水生生物毒性データベースToMExの利用
	村上 太一 講演番号 龍谷大学院 Aa0018 WE-A3-6 長鎖有機フッ素化合物における炭素数の違いによる焼却分解挙動の評価		櫻岡 晴子 講演番号 京都先端科学大学 A00103 WE-C3-6 ポリ塩化ビフェニル類が環境微生物群集の応答様式に及ぼす影響	高橋 勇介 講演番号 国立環境研究所 A00155 WE-D3-6 プラスチックの劣化(微細化学動)を評価するための劣化指標の検討

6月1日 (木)	A会場 メインホール (813名)	B会場 3F展示室3-5 (168名)	C会場 3F展示室6-8 (168名)	D会場 4F会議室2-4 (268名)
----------	----------------------	------------------------	------------------------	------------------------

9:00-10:30	TH-A1 一般研究セッション 1 3 : ヒトモニタリング 座長：磯部友彦・小栗朋子	TH-B1 一般研究セッション 1 4 : English Session 2 座長：岩田久人・Nguyen Minh Tue	TH-C1 一般研究セッション 1 5 : プラスチック・分析技術 座長：高田秀重・田中厚資	TH-D1 重点テーマセッション 6 : PFASの環境・生体モニタリング 座長：石橋弘志・高橋 真
	磯部 友彦 講演番号 国立環境研究所 A00185 TH-A1-1 日用品等に含まれる化学物質の体内動態に関する研究	Pyae Sone Soe 講演番号 Prefectural University of Kumamoto Aa0072 TH-B1-1 Assessment of pollution and source identification of heavy metals in surface sediment from urban and suburban areas in Myanmar	藤田 恵美子 講演番号 千葉工業大学 A00115 TH-C1-1 超微小硬度計を用いた環境中マイクロ・メソプラスチックの表面硬度に関する研究	原田 浩二 講演番号 京都大学医学研究科 A00023 TH-D1-1 ベル・ポリフルオロアルキル物質による汚染地域(沖縄、大阪摂津、東京多摩)でのヒトバイオモニタリング
	本田 匡人 講演番号 金沢大学 A00286 TH-A1-2 アジア各国における環境フェノール類のヒト・バイオモニタリング調査	Ahmed Rhab 講演番号 帯広畜産大学 Ab0014 TH-B1-2 In vivo and in silico assessments of estrogenic potencies of zearalenone and its metabolites using zebrafish (Danio rerio)	鎌田 素之 講演番号 関東学院大学 A00288 TH-C1-2 水道水中のマイクロプラスチックの簡易分析法の検討	磯部 大斗 講演番号 横浜国立大学 Aa0078 TH-D1-2 フッ素系界面活性剤に含まれる未知有機フッ素化合物PFASの初期構造推定
	篠原 直秀 講演番号 産業技術総合研究所 A00051 TH-A1-3 食事中的フタル酸エステル類およびフタル酸代替物質の評価	Syafran Arrazy 講演番号 Prefectural University of Kumamoto Ac0008 TH-B1-3 Critical Review of Mercury Pollution in Indonesia	黒石 佳奈 講演番号 島津テクノリサーチ A00026 TH-C1-3 生分解度測定法の高度化を目指した海洋生分解性プラスチックの生分解度指標となる分解生成物の探索	狭間 未羽 講演番号 摂南大学 Aa0068 TH-D1-3 琵琶湖・淀川水系および吉野川水系におけるPFAS汚染調査
	水野 佑紀 講演番号 東京大学 A00290 TH-A1-4 フタル酸エステル類曝露と男性性機能との関連	Chen Xing 講演番号 帯広畜産大学 Ac0009 TH-B1-4 Distinct potency of developmental effects of bisphenol A analogs and their possible molecular mechanisms in zebrafish	梶原 夏子 講演番号 国立環境研究所 A00289 TH-C1-4 混合プラスチック破砕物：規制難燃剤の含有実態と循環利用促進への課題	佐藤 愛佳 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター Aa0062 TH-D1-4 コンパニオンアニマルのPFAS汚染：イヌ・ネコの種差要因と汚染の地域差

	小栗 朋子 講演番号 産業技術総合研究所	LEE Jae Seung 講演番号 帯広畜産大学	金高 史佳 講演番号 熊本県立大学大学院	高橋 真 講演番号 愛媛大学大学院農学研究科
	A00074 TH-A1-5 フタル酸エステル類及び代替物質の尿中排泄量の変動	Aa0076 TH-B1-5 Biological effects of 2,3,7,8-substituted and non-2,3,7,8-substituted polybrominated dibenzo-p-dioxins in developing zebrafish	A00243 TH-C1-5 九州地方沿岸における漂着ごみのモニタリング	A00172 TH-D1-5 魚類および野生動物組織中のPFASsの分析法開発と蓄積特性評価
	松田 悠莉 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター		高菅 卓三 講演番号 島津テクノリサーチ	佐藤根 妃奈 講演番号 新潟食料農業大学
	Aa0064 TH-A1-6 フェノール性内分泌かく乱化学物質によるヒト曝露実態：尿中濃度と曝露量・排泄率の評価		A00273 TH-C1-6 生分解性プラスチックと汎用プラスチックの熱分解特性の評価	A00252 TH-D1-6 ヘルフルオロオクタンスルホン酸のヒラメにおける異性体特異的蓄積とその影響

10:50-12:35	特別企画3：野外における生態毒性を捉える挑戦	TH-B2 一般研究セッション16：分析技術2 座長：高橋知史・高沢麻里	TH-C2 一般研究セッション17：PPCPs 座長：佐能正剛・中田典秀	TH-D2 重点テーマセッション7：PFASの高精度分析技術における新たな展開 座長：股 照洙・谷保佐知・羽成修康
	趣旨説明（3分）石母田誠（残留農薬研究所） 有毒アオコの動態と対策（20分）朴 虎東（信州大学） メソコズム試験による生物間相互作用を考慮した農業の生態影響評価（20分）橋本 光哉（弘前大学） 個体群モデルを用いて近年のアカアネ激減に対する農業の影響を解明する（20分）横溝 裕行（国立環境研究所） 野外での調査観察データから化学物質の因果的な影響を推定する（20分）竹下 和貴（東洋大学） 質疑応答	森 大樹 講演番号 いであ株式会社 A00244 TH-B2-1 GC/MS用Double Cryo-Focusing Systemの開発-(4)極少量試料への応用（血中PCBs）-	水原 奈々 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター Aa0008 TH-C2-1 抗精神病剤ハロペリドールと抗ヒスタミン剤クロナジミンの2種におけるゼブラフィッシュ胚への生物濃縮性比較	羽成 修康 講演番号 産業技術総合研究所 A00043 TH-D2-1 正確な定量分析のためのPFAS認証標準物質（NMIJ CRMs）□
		森 大樹 講演番号 いであ株式会社 A00242 TH-B2-2 GC/MS用Double Cryo-Focusing Systemの開発-(5)多重ピークへの応用（フタル酸エステル類）-	甲斐 奏 講演番号 愛媛大学沿岸環境科学研究センター Aa0056 TH-C2-2 魚類肝S9画分を用いた医薬品類の肝代謝速度定数の解析および生物濃縮性予測モデルの有用性評価	谷保 佐知 講演番号 産業技術総合研究所 A00128 TH-D2-2 水試料中ベルおよびポリフルオロアルキル化合物（PFAS）測定における精度管理□
		中野 武 講演番号 大阪大学 環境安全研究管理センター A00125 TH-B2-3 PCBのキラル分離と構造予測の重要性	中田 典秀 講演番号 神奈川大学 A00191 TH-C2-3 COVID-19流行期に下水道へ流入する市販医薬品成分の濃度変動	股 照洙 講演番号 農研機構 A00221 TH-D2-3 PFASの高感度かつ高精度分析技術を目指して
		松井 大直 講演番号 いであ株式会社 A00070 TH-B2-4 GC-MS/MSによるダイオキシン類分析の検討	堀井 勇一 講演番号 埼玉県環境科学国際センター A00112 TH-C2-4 固相カートリッジとGC/MSを用いる魚類中シロキサン類の分析	岩田 敏明 講演番号 日本ウォーターズ株式会社 A00190 TH-D2-4 高性能タンダム四重極質量分析計を用いた土壤中ヘルフルオロアルキル化合物一斉分析法の検討
		守谷 美祐 講演番号 静岡県立大学 Aa0048 TH-B2-5 高親水性農薬対応バッドサンプリングの開発を志向した吸着剤の特性評価	堀井 勇一 講演番号 埼玉県環境科学国際センター A00114 TH-C2-5 Point of salesデータを利用した化粧品中シロキサン類の使用量推定	城代 航 講演番号 アジレント・テクノロジー株式会社 A00266 TH-D2-5 トリプル四重極LC-MSを用いた土壤中PFAS一斉分析及び測定方法の開発
		田川 瑛梨 講演番号 横浜国立大学 Aa0023 TH-B2-6 シリコンリストバンドを用いた多環芳香族炭化水素類のバッドサンプリング法における風速影響の評価	竹峰 秀祐 講演番号 埼玉県環境科学国際センター A00129 TH-C2-6 ケモインフォマティクスおよび機械学習を利用したLC/MS分析における化合物の保持時間および感度の予測	岩佐 奈実 講演番号 株式会社島津製作所 A00250 TH-D2-6 土壌試料中の30成分PFAS分析の前処理方法の検討及び測定方法の開発
		溝淵 円香 講演番号 横浜国立大学 Aa0060 TH-B2-7 バッド法における揮発性有機化合物のサンプリングレート推算法の高精度化	三小田 憲史 講演番号 富山県立大学 A00271 TH-C2-7 EEMで検出される蛍光性溶存有機物の水環境における挙動と下水マーカとしての検討	小野 純子 講演番号 大阪府立環境農水産総合研究所 A00194 TH-D2-7 土壌中多成分PFAS一斉分析法の検討□

6月2日（金）	A会場 メインホール（813名）	B会場 3F展示室3-5（168名）	C会場 3F展示室6-8（168名）	D会場 4F会議室2-4（268名）
---------	---------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

9:00-10:30	特別企画4：Human Biomonitoringによる曝露評価	FR-B1 一般研究セッション18：分析技術3 座長：高橋厚・大塚宜寿	FR-C1 一般研究セッション19：生態影響 座長：竹下和貴・永井孝志	FR-D1 重点テーマセッション8：国際研究の動向と未来 座長：山本裕史・鍾迪興久
	リスク評価における Human Biomonitoring の役割（20分）姫野誠一郎（徳島文理大学、昭和大学） バイオモニタリングにおける化学分析（20分）□ 上山純（名古屋大学） 世界における Human Biomonitoring と環境疫学調査における活用（25分）中山祥嗣（国立環境研究所） □ 質疑応答・討論（20分）	羽成 修康 講演番号 産業技術総合研究所 A00005 FR-B1-1 塩素化パラフィンの組成評価に資する共同分析（第4回2022年度）	横溝 裕行 講演番号 国立環境研究所 A00210 FR-C1-1 繁殖価の流れ行列と生命表反応解析による生態影響評価	Norihisa Tatarazako 講演番号 Ehime University A00296 FR-D1-1 Recent trend and topics of international research on environmental contaminants in SETAC Annual meeting
		高橋 厚 講演番号 国際民間試験所連合 A00049 FR-B1-2 UIILI-ILP（国際試験所間比較試験）のこれまでの実施状況と分析方法別解析結果	渡部 春奈 講演番号 国立環境研究所 A00147 FR-C1-2 流水式システムを用いた水添加によるユスリカ底質-水毒性試験法の改良	Guruge Keerthi Siri 講演番号 農研機構 E00015 FR-D1-2 Microplastic as a junk food in the Indian Ocean food web
		高橋 知史 講演番号 三浦工業株式会社 A00057 FR-B1-3 ダイオキシン類分析のクリーンアップにおける分画操作の自動化	明正 大純 講演番号 静岡県立大学 A00123 FR-C1-3 LevonorgestrelはメタカにおいてXX個体の雄への性転換だけでなくXY個体の雌への性転換も誘導する	鍾 悦 講演番号 富山県立大学 E00012 FR-D1-3 Microplastics in Indoor and Outdoor Dust in Japan and Associated Human Exposure

		田原 るり子 講演番号 北海道立総合研究機構 A00200 FR-B1-4 環境水中のポリオキソエチレンアルキルエーテル硫酸塩の分析法	坂本 正樹 講演番号 富山県立大学 A00262 FR-C1-4 Cuによる防御形態の発現抑制がミジンコ個体群動態に与える影響	
		竹峰 秀祐 講演番号 埼玉県環境科学国際センター A00127 FR-B1-5 大気中ヒドロジンのサンプリングカートリッジの開発とLC/MS/MSによる高感度分析法	小田 悠介 講演番号 国立環境研究所 A00163 FR-C1-5 アルキル鎖長の異なるフタル酸エステル類の生態毒性と複合影響	
		小倉 伸夫 講演番号 株式会社クハ環境 A00027 FR-B1-6 FT-IRを用いたPCB汚染土壌の迅速定量法	加茂 将史 講演番号 産業技術総合研究所 A00025 FR-C1-6 種の感受性分布を用いた生態リスク評価 - データを一つ追加すると何が起きるか	

10:50-12:20	特別企画 5：有機フッ素科学からゼロポリマーを考える	FR-B2 一般研究セッション 2 0：影響解析・その他 座長：宮崎 航・松島綾美	FR-C2 一般研究セッション 2 1：廃棄物・処理技術,他 座長：三小田憲史・藤森 崇	FR-D2 一般研究セッション 2 2：動態解析・モデル解析 座長：遠藤智司・河合 徹
--------------------	-----------------------------------	---	--	---

座長：中山 祥嗣 (次長 国立環境研究所)、磯部 友彦 (主幹研究員 国立環境研究所) 演者：原田 浩二 (准教授 京都大学大学院医学研究科)、長谷川 健 (教授 京都大学化学研究所 環境物質化学研究系) 指定発言者：網井 英樹 (教授 群馬大学分子化学部門)、小松 聡 (ダイキン工業)、三村 英之 (東ソー・ファインケム) プログラム (敬略)： 趣旨説明 (5分) 中山祥嗣 PFASの健康影響に関する研究のまとめ (15分) 原田浩二 SDA理論：有機フッ素科学の再構築 (15分) 長谷川健 指定発言 (各3分、計10分) 指定発言者 総合討論 (45分) 全員	乾 秀之 講演番号 神戸大学大学院・農学研究科 A00071 FR-B2-1 ヒトシクロムP450モノオキシゲナーゼによる塩素化パラフィンの代謝メカニズム	樋口 諒 講演番号 埼玉大学大学院理工学研究科 A00079 FR-C2-1 エキシマランプと低圧水銀ランプを用いたVOCガス分解特性の比較	遠藤 智司 講演番号 国立環境研究所 A00017 FR-D2-1 GC保持時間と分配係数の測定による中性PFASの極性相互作用の解明
	河野 久美子 講演番号 水産研究・教育機構水産技術研究所 A00065 FR-B2-2 マガキ幼生に対する防汚物質DCOIT分解産物の毒性	脇岡 泰陽 講演番号 埼玉大学大学院理工学研究科 A00080 FR-C2-2 過炭酸ナトリウムを用いた新たな過酸化水素ガス発生手法の検討	小口 正弘 講演番号 国立環境研究所 A00174 FR-D2-2 環境モニタリングデータとの比較から見たPRTR排出量データの網羅性の考察
	小林 亨 講演番号 静岡県立大学 A00052 FR-B2-3 メタカ胚におけるベンゾフェノン2の甲状腺ホルモン攪乱活性	古賀 瑞基 講演番号 龍谷大学 A00007 FR-C2-3 ヘルフルオロオクタノ酸(PFOA)の焼却による効果的分解法	今泉 圭隆 講演番号 国立環境研究所 A00151 FR-D2-3 フタル酸エステル類10種の環境排出量推定と多媒体環境動態モデルG-CIEMSを用いた環境動態予測
	関口 俊男 講演番号 金沢大学 生命理工学類 A00150 FR-B2-4 原素動物ホヤにおける芳香族炭化水素受容体AhRの分子機能解析	布施 泰朗 講演番号 京都工芸繊維大学 A00033 FR-C2-4 HS-GC/MSによる廃棄物焼却排気ガスにおけるダイオキシン類デノボ合成の再現解析法	小山 陽介 講演番号 国立環境研究所 A00229 FR-D2-4 全世界の化成品の推定製造量分布を用いた包括的な生態リスク指標値の推計
	澁谷 徹 講演番号 環境エビジェネティクス研究所 A00064 FR-B2-5 継世代エビジェネティック遺伝とカネミ油症	岩田 直樹 講演番号 株式会社島津テクノリサーチ A00234 FR-C2-5 低濃度PCB廃棄物としての廃塗膜に関する研究 (第四報)	若栗 佳介 講演番号 奈良先端科学技術大学院大学 A00072 FR-D2-5 分子行列の固有値を用いた化学物質の蒸気圧の予測(2)：組成別モデルの検討
	黒田 洋一郎 講演番号 環境脳神経科学情報センター A00176 FR-B2-6 環境中のアルミニウムの神経毒性はアルツハイマー病の一因	栗野 賢一 講演番号 群馬大学 A00010 FR-C2-6 食品廃棄物を使った群馬県産エダマメの高付加価値化	小柴 絢一郎 講演番号 京都大学 A00002 FR-D2-6 空間分布を考慮した短鎖塩素化パラフィンの排出量および環境中濃度の推定